

小山勇朗市議会報告

平成 28 年
11 月 14 日

社民党仙台市議団
太白事務所

仙台市議会・第3回定例議会は去る10月11日に終了しました。小山勇朗議員が社民党会派を代表して質疑を行い、復興公営住宅入居者の高齢化の問題、いじめ問題、無届有料老人ホームの問題、市立病院の消費税問題、こども医療費助成制度の拡充、保育所の廃止と待機児童解消、仙台市の空き家問題について質しております。また、一般質問は辻議員、ひぐち議員が行っています。

問、本市で被災された方の仮設住宅供与は原則五年とされ、来年三月までに終了となる。課題は市内被災世帯の七二世帯は賃貸住宅となっている。市外被災世帯も五七一世帯になっている。これら世帯に対しどの様な個別支援を取組む考えなのか。また、復興公営住宅入居者の高齢化問題と一人暮らしの問題がある。孤独死や孤立防止、コミュニティづくり、更には訪問・見守り活動についての考えを伺う。



答、市外で被災された皆様の再建に関しましては、引き続き各世帯の状況を把握し、全力で支援して行く考えです。復興公営住宅入居者については、今後も安心して暮らすことができますよう、更なる戸別訪問を行い、自発的・継続的に町内会など、コミュニティ活動が末永く行えるよう、必要な財政措

置を国に求めながら、引き続き被災された皆様の支援に取組んで行きます。

問、いじめ対策について仙台市は平成二七年度に「教育の振興に関する施策の大綱」を策定し、いじめ・不登校対策の充実を掲げて取り組んでおりますが、無くならないのが実情です。いじめを見逃すことなく、学校全体で情報を共有し、組織として早期発見・早期対応を行うこと。更には、教職員に対する再指導、研修、命の尊さ含め子どもとの関わり方、保護者との意見交換の場作り等について取り組みを強化すべきと考えるが伺います。

答、平成二七年度は三名のスクールソーシャルワーカーを配置し、いじめ・不登校対策チームによる全校訪問を行い指導してきた。今年度は、いじめ対策専任教諭を増員し組織対応の強化を図っている。また、教育委員会内に「いじめ不登校対策班」を新設、スクールカウンセラー二名の配置、ソーシャル

ワーカー二名の増員により支援体制を強化している。

問、東日本大震災から五年半経過しています。これまで被災者の生活再建に重点を置いた復旧・復興を取組んで来られましたが、蒲生海岸公園を中心とした海岸公園スポーツ施設の復旧についても期待されています。各施設の数及び何年度までにどの程度整備されるのか伺う。

答、今年度末までに蒲生地区の野球場六面、テニス



コート一〇面、更には、荒浜地区の多目的運動広場とパークゴルフ場二十三ホールが完成します。平成二九年度末には、井土地区に馬術場と冒険広場のディキャンブ場も完成します。



小山議員は、他に市立病院の経営問題(消費税の負担増)対応、空き家対策・高齢者施設の災害時の避難対応、豪雨時の避難所開設の判断、無届有料老人ホームの調査・指導、子ども医療費の更なる拡充、公設公営の保育所を継続し待機児童の解消等々について質しております。また、平成二七年度の決算認定の分科会に於いては、水道事業の不用額六億四千万円余の内容、老朽管の更新状況、七ヶ宿ダムからの受水費、ゲリラ豪雨対策について質してあります。



子ども医療費助成制度が拡充されます。

内容は、必要経費が年間約十億七千万円。対象者約十万人、平成二九年一〇月一日から通院については現行の小学校三年生までを、中学校三年生までにする。所得制限は現行のままとする。利用者一部負担金については、これまで三歳から小学校三年生までを通院初診時に五百円負担としていましたが、〇歳から小学校就学前までは負担なしとし、小学校一年生から中学三年生までが五百円の負担金対象となります。

仙台市債権管理条例

採択なる。

債権とは、市税や国民健康保険料、使用料・手数料、返還金、貸付金などを言います。そして債権が発生してから消滅するまでの一連の事務処理を債権管理といい、具体的には納付通知書の送付や台帳への記録、収

納状況の管理、滞納になった場合の督促や催告、滞納処分、強制執行、徴収の緩和措置等の手続きを指します。本条例の基本的な考え方は、①仙台市の債権管理について包括的に規定、その事務処理を整理するとともに、債権管理に必要な事項を定めることにより、債権管理の手続き・基準を統一します。②各債権に適用される法令に従い、適正な債権管理を行う責任を明確にします。③破産法等により債務者が責任を免れた債権等、債権管理を続けても事実上回収できる見込みがないものについては、限定的に放棄できる規定を設けるとしております。対象債権は仙台市が保有する全ての金銭債権となります。



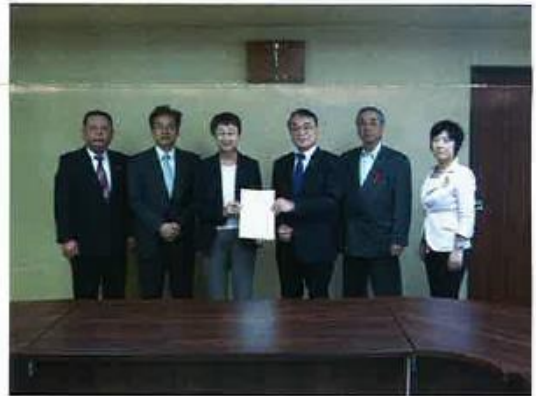
その他・決議と

意見書について

決議は北朝鮮の核弾頭の爆発実験、弾道ミサイルの発射実験に対する抗議の決議です。意見書については、現行の奨学金は学生に貸与し、その返還金を次世代の奨学金の原資としているため、非正規雇用などによって卒業後の収入が安定せず、奨学金の返還に悩む学生が多いという事で返還不用の給付型奨学金の創設や授業料減免などの支援拡充するためのものです。

平成二九年度予算編成に向けた、社民党仙台市議団としての要望を、去る十月十一日に奥山市長に提出しました。

子どもの権利条例、公文書条例、公契約条例など市政運営に関するもの五項目、予算に関わる全市的な課題区九一項目、各区における市民生活



奥山市長に要請

に直結する課題六九項目について百六十一項目を提出しました。

社民党市議団として、八月の台風一〇号による大水害で大きな被害に遭った「北海道・十勝支庁・清水町」へ。

東日本震災時に支援して頂いた御礼と被災状況の現状視察を実施しました。視察は十月三十一日から十一月二日にか



小樽市・総合博物館・5haの広さ



けて行われ、初日は小樽市の総合博物館、二日目に札幌から片道百六十キロ離れた清水町へ調査。高薄町長と議長、議会事務局長の方々と会い、歓迎の挨拶の後、大震災時に



水害の実態

宮城野区と若林区の避難所における「牛玉丼ステーキ」六百食の提供に感謝申し上げ市長の御礼の挨拶文も届けています。その後、議会事務局から被害の状況について説明があり、家屋の被害や農地（ビートの被害）、酪農の

牧草地の被害、七河川の決壊による被害と大変な状況の報告でした。現地にも案内して頂き河川の現状、家屋の倒壊、農地の被害を調査しました。河川の被害は国直轄にな

りますがほとんど進んでおらない実態です。翌日は、札幌市役所でコンサートホールの調査総合交通政策と自転車の放置自転



水害の実態

車対策、自転車の走行対策などについて調査してきました。



自転車の通行帯



札幌市・コンサートホール

地元の要望課題解決

①長い間ゲリラ豪雨や台風時に排水が悪く、住宅の床下浸水や床上浸水、更には自家用車が水害で廃車になるなど大変な思いをしていた袋原六丁目の地図の地点が、今回ようやくマ



ンホール式排水ポンプ設置により解決することになりました。



②以前から幼稚園が近くにあることや、交通量も多く信号のすぐ近くに停止線があるのと右左折するのに狭く通りにくいという声があり、袋原・宮城第一信用金庫前の交差点について、袋原六丁目側から出てくる所の停止線を、電柱などにより狭いので下げてほしいという要望があり、区役



所や南警察署に要請し、ようやく下げることができました。

この交差点は、自転車も多く通ります。児童の通学路にもなっていますので交通事故には皆さんで注意を払い、安心して通勤・通学ができる地域にしてまいります。